

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書  
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

希望(のぞみ)の家

グループの名称

ふくしま中央建設共同企業体

直近採択グループ番号

04-0534-0138

(グループ代表者)

代表者名

大原 昇

代表者印

代表者所属先

株式会社大原工務店

代表者所在地

福島県郡山市安積町日出山二丁目21-1

代表者電話番号

02-4944-9214

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社大原工務店

事務局担当者名

大原 昇

印

事務局郵便番号

963-0101

事務局所在地

福島県郡山市安積町日出山二丁目21-1

事務局電話番号

02-4944-9214

事務局FAX

02-4944-9688

事務局担当者E-mail

oohara-komuten@river.ocn.ne.jp



B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		15	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	15	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		3	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	3	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸					
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		2	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	2	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸					
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		2	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸						
	申請が未確定(上限150万円)		1	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸						
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		2	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸						
	申請が未確定(上限165万円)		1	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸						
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	棟	/						
			m <sup>2</sup>							
		申請が未確定	棟							
			m <sup>2</sup>							
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	補助金の活用実績の少ない施工業者に対し、優先的に割り振る									
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	当初予算	採択戸数	7	戸	交付申請戸数	5	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	5	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
優良建築物型										
当初予算	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
当初予算	採択床面積	0	m <sup>2</sup>	交付申請床面積	0	m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m <sup>2</sup>	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 希望(のぞみ)の家	(地域型住宅供給対象地域) 福島県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) ふくしま中央建設共同企業体	(結成年) 2012年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0534-0138	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	福島県は東日本大震災の被災地域であり、原子力発電所の問題もあるため復興が一番遅れている県である。そのため地域材については安全性を明確にして消費者に対し提供していく。また県内は省エネ基準も3地域、4地域、5地域と3つの地域が混在しているので、各地域にあったH25年省エネ基準以上の断熱等性能以上の住宅を提供できるようにしていく。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	地震に強く耐震等級2以上、柱の直下率60%以上を目指した家造り。 また、水害にも対応した設計GL等の設定。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	内観と外観のディテール意外にも、町並景観にもこだわった家造り	◎
④①～③の背景	福島県は東日本大震災による影響が一番濃く残っていることに踏まえ、近年30年の間に大きな水害が2度も発生しているので水害にも対応できる住宅も提供していく必要がある	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	地盤の品質保証は20年の保証とする 防蟻保証も5年以上の保証とする	◎
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	標準仕様書を作成しそれを基に用材の規格化を図り、流通が迅速に行われるようにする	
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容:	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容:	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容:	◎
②-1 建材・資材調達の共同化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容:	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容:	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: グループ構成員及び地域工務店、設計業者、部材供給業者とのネットワーク連携	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 上記ネットワークの維持管理、申請手続き事務	◎
b.	標準仕様書を作成し、グループ間で共有の上、定例会議を行い情報の共有を図る	
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容:	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 施工管理マニュアル、検査チェックリストを作成し、チェックリストに基づいた検査を構成員又は協力業者が行い、結果はグループ構成員に対し開示する	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 基本プランによる価格をベースに標準見積書を作成し、見積り、積算の価格を明確にする。品番、メーカー、定価等も表示する	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 意見交換会を定期的に行っていく。また長期優良住宅を認定した住宅やベルスを取得したゼロエネルギー住宅の構造見学会、完成見学会を実施し、グループ構成員同士の参加も促していく。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	BELS認定のZEH住宅については設計性能評価の申請を行い評価書を取得する。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 希望(のぞみ)の家	(地域型住宅供給対象地域) 福島県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) ふくしま中央建設共同企業体	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0534-0138	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a 住宅履歴情報システム「いえかるて」に履歴を蓄積していく		
① 住宅履歴情報の蓄積		◎
①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報システムにデータを保管していく	◎
①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報の登録機関より6ヶ月点検等の手紙の発送	◎
①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施主、施工者が共通IDによりネット上で確認できる。	◎
② メンテナンス基準の整備		
②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: アフターサービス基準に基づいた定期的メンテナンスの実施	○
②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: アフターサービス基準に基づいた補修を行う	○
②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報サービスにより点検の通知及び事務局での管理	○
③ 住まいの管理		
③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局にて企画する	○
③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 電話・訪問・ニュースレター等においてDIYの相談受付、協力業者の行う体験会への参加	◎
③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 電話・訪問・見学会等において随時受付	◎
④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理を事務局が窓口となり行う	○
⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b ① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局を中心として話し合い構成員を指名、指名された構成員は消費者に対し各種説明等を行う	◎
② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事例などの紹介と会員からの経験に基づき情報を共有していく。また瑕疵担保保険会社の説明会や勉強会に積極的に参加する	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	いえかるてへの登録は75年コースへ登録する	◎

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内の実物件で未経験工務店等を対象とした勉強会、現場見学会を実施する	○
②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 品質管理シートを作成し、グループ内で品質のばらつきがないように管理していく	○
②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 品質管理シートを基に確認していく	○
③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 消費者へのマーケティング活動の強化と、年間スケジュールを策定する	○
③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 流通グループや協力業者を中心とした展示会や、施工グループを中心とした見学会等に消費向けに案内のチラシ等を配布し、目標達成に向け確実実績が積み上げられるように取組んでいく	○
④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各業種ごとに情報の共有化や意見を交換し、効率化を図っていく	○
b ①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 5 今年度の参加目標人数 5	○
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 0 今年度の参加目標人数 3	○
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が講習会の開催日程を確認し、各構成員に対し情報を発信する	◎
c		
① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内の施工物件で勉強会の実施、建材・設備メーカー等による新商品や新技術の説明会の開催	○
② 新たな技術等の開発	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ゼロ・エネルギー住宅等について、経験工務店や協力業者を交えた勉強会を開催していく	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 希望(のぞみ)の家	(地域型住宅供給対象地域) 福島県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) ふくしま中央建設共同企業体	(結成年) 2012年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0534-0138		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与			
【平成29年度対応方針】			
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	柱・土台・梁桁の構造耐力上主要な部分を合法木材証明制度(国内・国外)、福島県産材、地域材を使用する	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	原木供給・製材業者 → プレカット事業者 → 建材流通業者 → 施工事業者 グループ構成員による一連の作業によりスムーズな供給提供ができる 上記③にて羽柄材、造作材、板材については「使用していない」を選択しているが、これらの部位については地域材としての使用制限は設けられないが、積極的に使用していくものとする	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 製材業者・プレカット業者のスムーズな連携により、木材の在庫量・価格情報を把握し事務局に報告する	
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 製材業者・プレカット業者のスムーズな連携により、木材の在庫量・価格情報を把握し事務局に報告する	○
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 木材流通構成員により、地域材の在庫管理や先の需給予測を構成員に発信する	○
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: プランニングの際に、和室やタタミコーナーを設置して畳の部屋を作る	◎
	①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	①-3 襖の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	①-4 障子の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 技術の継承をグループ全体でバックアップ	○
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域独特の特長を生かした住まい方を活かし提案していく	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域の景観に合わせた街並み形成に配慮した外観を提案していく	○
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 外観・内観デザインに和の要素を取り入れた提案をしていく	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
カ. その他			
【平成29年度対応方針】			◎、○記入欄
	東日本大震災の復興に資する取組	前年度は、被災者の復興住宅の建築にグループ全体の協力のもと取組んだ。今年度も被災者への住宅の供給、被災地域である地元の木材や資材の使用に積極的に取組み、情報の共有、提供、バックアップ体制の強化等も継続して取組んでいく	◎
	平成28年熊本地震の復興に資する取組		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 希望(のぞみ)の家	(地域型住宅供給対象地域) 福島県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) ふくしま中央建設共同企業体	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0534-0138	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

ゼロエネルギー住宅・認定低炭素住宅 共通仕様書

- ① 照明設備 LED等の高効率機器を使用
- ② サッシ 断熱サッシLOW-E
- ③ トイレ 節水型トイレ・水栓
- ④ 浴槽 断熱浴槽
- ⑤ 給湯設備 高効率給湯設備
- ⑥ 換気設備 一種換気をなるべく採用する
- ⑦ 断熱材 外皮計算を行い基準を満たすもの

ゼロエネルギー住宅については上記に加え

- ⑧ 太陽光発電システム設置
- ⑨ 住宅版BELSの取得